

基本目標1 隣近所同士、市民同士で交流する場を増やす

事業名	実施主体	評価指標	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	進捗の評価についてのコメント
1(1) 赤ちんサロン	健康推進課	○赤ちんサロン実施数	①赤ちんサロン実施数 計28回 利用者数:388組	赤ちんサロン実施数:7度 定員各4回-計28回、利用者数:302組	①赤ちんサロン実施数:7度 定員各4回-計28回、利用者数:395組	①赤ちんサロン実施数:7度 定員各4回-計28回、利用者数:343組	①7度 定員各4回-計28回、利用者数289組	7度 定員各4回 予定(新型コロナウィルスのため回数は未定)	児童館での赤ちんサロンは、母が気軽に出かけられ、交流できる場になっている。今後も地区別・年齢別で実施し、協力して実施している。(児童館によっては、児童館主催で赤ちんサロンを開催している)
1(2) 地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	○①親子の集いの広場の実施回数及び内容、②子育てサークルの育成・振興の実施回数及び内容							
1(3) 児童館	子育て支援課	①乳幼児 ②小学生・中学生向け行事の参加者数	①乳幼児利用者数7回1日あたり187人 ②小学生・中学生利用者数7回1日あたり105.5人	①乳幼児利用者数7回1日あたり175.5人 ②小学生・中学生利用者数7回1日あたり100.8人	①乳幼児向け行事の参加者数 乳幼児利用者数7回1日あたり平均189.8人 ②小学生向け行事の参加者数 小学生・中学生利用者数7回1日あたり平均102.6人	①児童向け行事の参加者数 乳幼児利用者数7回1日あたり平均160.9人 ②中学生向け行事の参加者数 小学生・中学生利用者数7回1日あたり平均90.8人		今後もし引き続き、18歳未満の児童の交流の場となようとする。	
1(4) 保育園・学校又は近隣住民との共同開催事業	子育て支援課	○遊藝訓練の実施回数及び内容							合同開催実施数は昨年度変わらなかった。相手先の思いもあり、なかなか具体化できない現状。地域懇談会等、学校や施設と話す機会に提案し、遊藝訓練を実施。
1(5) 青少年健全育成事業	青少年センター	○活動実績	○補償員活動:地域補償員48人、校外補償員48人、特別補償員2人を受備。27年度の街頭補償実施回数は延べ54回、従事人数延べ1373人、補導した少年は延べ111回。 ○青少年健全育成協力店:大型店舗、コンビニエンスストア、ゲーム場、インターネットカフェ、カラオケ店等の遊藝施設及び子ども向け店舗等を対象に、子どもたちの見守り、声かけ等を依頼。平成27年度中に18店舗に実施した。協力店は延べ700店舗。 ○地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月20日までの期間中、59会場、延べ14,903人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。 ○地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月19日までの期間中、49会場、延べ12,543人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。 ○スクールカウンセラー活動:スクールカウンセラーは、小学生の発達障害や子どもたちの安全確保する目的で各小中学校に配置し、昼抜きなど。	・補償員活動:地域補償員48人、校外補償員48人、特別補償員2人を受備。28年度の街頭補償実施回数は延べ54回、従事人数延べ1,293人、補導した少年は29人、店舗等への立ち入り指導は延べ10回。青少年健全育成協力店:大型店舗、コンビニエンスストア、ゲーム場、インターネットカフェ、カラオケ店等の遊藝施設及び子ども向け店舗等を対象に、子どもたちの見守り、声かけ等を依頼。平成28年度中に18店舗に実施した。協力店は延べ700店舗。 ・地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月20日までの期間中、59会場、延べ14,903人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。 ・スクールカウンセラー活動:スクールカウンセラーは、小学生の発達障害や子どもたちの安全確保する目的で各小中学校に配置されている。28年度の登録者は全市で439人、主な登録者はPTA役員、保護者、地域住民、地域役者など。	・補償員活動:地域補償員48人、校外補償員48人、特別補償員2人を受備。29年度の街頭補償実施回数は延べ54回、従事人数延べ1,084人、補導した少年は29人、店舗等への立ち入り指導は延べ10回。青少年健全育成協力店:大型店舗、コンビニエンスストア、ゲーム場、インターネットカフェ、カラオケ店等の遊藝施設及び子ども向け店舗等を対象に、子どもたちの見守り、声かけ等を依頼。平成29年度中に18店舗に実施した。協力店は延べ700店舗。 ・地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月19日までの期間中、49会場、延べ11,862人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。	・補償員活動:地域補償員48人、校外補償員48人を受備。元年度の街頭補償実施回数は延べ44回、従事人数延べ950人、補導した少年は15人(包含実等)。青少年健全育成協力店:大型店舗、コンビニエンスストア、ゲーム場、インターネットカフェ、カラオケ店等の遊藝施設及び子ども向け店舗等を対象に、子どもたちの見守り、声かけ等を依頼。協力店は延べ59店舗。 ・地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月19日までの期間中、49会場、延べ11,862人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。	・補償員活動:地域補償員48人、校外補償員46人を受備。2年度の街頭補償実施回数は延べ44回、従事人数延べ950人、補導した少年は15人(包含実等)。青少年健全育成協力店:大型店舗、コンビニエンスストア、ゲーム場、インターネットカフェ、カラオケ店等の遊藝施設及び子ども向け店舗等を対象に、子どもたちの見守り、声かけ等を依頼。協力店は延べ59店舗。 ・地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月19日までの期間中、49会場、延べ11,862人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。	○対応(1)ローの設置や防犯カメラの設置等により、市内の犯罪少年や不良行為少年は年々減少している。当センターでの補償活動でも、問題行動を見かけることが少なくなっている。 ○青少年健全育成協力店:大型店舗、コンビニエンスストア、ゲーム場、インターネットカフェ、カラオケ店等の遊藝施設及び子ども向け店舗等を対象に、子どもたちの見守り、声かけ等を依頼。協力店は延べ59店舗。 ○地域ふれあい活動:地域の子どもからお年寄りまでが参加できる行事として実施している5月15日から11月19日までの期間中、49会場、延べ11,862人が参加した。主な活動は、防災訓練、清掃活動、運動会、昼抜きなど。	
1(6) 公民館等の体験教室事業	生涯学習課	○市内11地区の公民館が実施している自主事業	① 滝部公民館 子どもまきまき教室2回48人 ② 小江公民館 子どもクリスマス会1回71人、子ども卓球教室4回22人 ③ 南郷公民館 子ども日本舞踊1回29人 ④ 東郷公民館 カルタ・百人一首大会1回31人 ⑤ 北郷公民館 お茶のこクラブ10回116人、お話し広場10回838人、子ども夢教室4回1200人、親子ふれあいプログラム1回21人 ⑥ 西部公民館 児童講座3回133人 ⑦ 三谷公民館 子ども卓球教室4回447人、子ども工作教室3回57人 ⑧ 佐藤公民館 子ども料理教室1回185人、親子工作教室1回46人 ⑨ 塩津公民館 子ども料理教室2回230人、親子工作教室1回20人 ⑩ 大塚公民館 親子工作教室1回20人、親子工作教室1回20人 ⑪ 西郷公民館 カルタ・百人一首大会1回20人、自然観察と体験学習1回11人 ⑫ 西郷公民館 親子工作教室1回22人、親子つなぎ体験教室1回44人 ⑬ 美しい親子の料理教室1回、互選と一緒に人形劇を見よう1回、合計45人 ⑭ 美しい親子の授業室1回48人、新書百人一首大会1回80人	① 滝部公民館 子どもまきまき大会1回290人 ② 小江公民館 子どもクリスマス会1回28人、昔の遊びを伝える会1回56人 ③ 南郷公民館 カルタ・百人一首大会1回38人、昔の遊びを伝える会1回56人 ④ 東郷公民館 カルタ・百人一首大会1回31人、昔の遊びを伝える会1回50人 ⑤ 北郷公民館 お茶のこクラブ10回131人、子ども夢教室4回187人、親子ふれあいプログラム1回21人 ⑥ 西部公民館 児童講座1回229人 ⑦ 三谷公民館 子ども卓球教室4回500人、子ども工作教室3回37人 ⑧ 佐藤公民館 子ども料理教室1回233人、親子工作教室1回57人 ⑨ 塩津公民館 子ども料理教室2回185人、親子工作教室1回20人 ⑩ 大塚公民館 親子工作教室1回20人、親子工作教室1回18人 ⑪ 西郷公民館 親子工作教室1回22人、子ども料理教室1回11人 ⑫ 西郷公民館 親子工作教室1回20人、自由学習室1回26人 ⑬ 西郷公民館 子ども料理教室1回14人	① 滝部公民館 子どもまきまき大会1回152人 ② 小江公民館 子どもクリスマス会1回42人 ③ 南郷公民館 カルタ・百人一首大会1回31人、昔の遊びを伝える会1回50人 ④ 北郷公民館 お話し広場、お茶のこクラブ、親子ふれあいプログラム等96回1382人 ⑤ 西部公民館 自然観察と体験講座1回143人 ⑥ 三谷公民館 大鳥フレスポール1回200人、子ども工作教室1回21人 ⑦ 佐藤公民館 子ども料理教室1回185人、親子料理教室1回20人 ⑧ 塩津公民館 親子料理教室2回229人 ⑨ 大塚公民館 親子工作教室1回20人、自由学習室1回26人 ⑩ 西郷公民館 子ども料理教室1回24人 ⑪ 西郷公民館 ワクワ大会 6回228人	① 滝部公民館 子どもまきまき大会1回152人 ② 小江公民館 子どもクリスマス会1回42人 ③ 南郷公民館 カルタ・百人一首大会1回31人、昔の遊びを伝える会1回50人 ④ 北郷公民館 お話し広場、お茶のこクラブ、親子ふれあいプログラム等96回1382人 ⑤ 西部公民館 自然観察と体験講座1回143人 ⑥ 三谷公民館 大鳥フレスポール1回200人、子ども工作教室1回21人 ⑦ 佐藤公民館 子ども料理教室1回185人、親子料理教室1回20人 ⑧ 塩津公民館 親子料理教室2回229人 ⑨ 大塚公民館 親子工作教室1回20人、自由学習室1回26人 ⑩ 西郷公民館 子ども料理教室1回24人 ⑪ 西郷公民館 ワクワ大会 6回228人	子ども単独で集って行う講座(書道)もあり、親子参加型の講座(事業)が好評であり、生涯教育の視点から十分に提供できる内容を実施している。ただし、今後は書き出しによる子どもの居場所作り(ほほえみ教室)などを重視した取り組みが求められるのだが、各公民館とも講座内容については、講座運営の意向がある。	「公民館が『どう場所なのか?』と思われている方が多く、特に若い世代に利用してもらえるようにしたい。各種の行事の場で使用してもらいたい。	
1(7) スポーツ少年団活動	スポーツ推進課	○活動実績、参加者数	・交歓会 東三河スポーツ少年団交流会1回 参加者40人 ふれあいフェスティバル6回:雨天のため中止 交歓会実行委員会1回 参加者10人 ・清掃活動 307人 ・新事業「れいこ」1/12～1/18 参加者延2,319人	・H27.6.7 スポーツ少年団大会総合開会式(スポーツワラー):参加者332人 ・H27.6.20 東三河スポーツ少年団交流会 参加者40人 ・H27.6.8 清掃活動:雨天のため中止 ・H27.11.8 ふれあいフェスティバル(交歓会):雨天のため中止 ・H27.12.8 体カ祭 参加者460人 ・H27.12.20 新事業「れいこ」参加者460人 ・H28.1.18～22 新事業「れいこ」参加者延2,329人	・H28.6.1 東三河スポーツ少年団交流会 参加者40人 ・H28.6.4 スポーツ少年団大会総合開会式(スポーツワラー):参加者415人 ・H28.9.11 清掃活動:参加者561人 ・H28.9.11 清掃活動:参加者392人 ・H28.11.8 ふれあいフェスティバル(交歓会) 参加者332人 ・H28.12.8 体カ祭 参加者460人 ・H28.12.17 新事業「れいこ」参加者延2,319人 ・H28.1.18～22 新事業「れいこ」参加者延2,329人	・H29.6.11 東三河スポーツ少年団交流会 参加者40人 ・H29.6.4 スポーツ少年団大会総合開会式(スポーツワラー):参加者415人 ・H29.9.10 清掃活動:参加者561人 ・H29.9.11 清掃活動:参加者392人 ・H29.11.8 ふれあいフェスティバル(交歓会) 参加者332人 ・H29.12.8 体カ祭 参加者460人 ・H29.12.17 新事業「れいこ」参加者延2,319人 ・H29.1.18～22 新事業「れいこ」参加者延2,329人	・H30.6.11 東三河スポーツ少年団交流会 参加者40人 ・H30.6.4 スポーツ少年団大会総合開会式(スポーツワラー):参加者415人 ・H30.9.10 清掃活動:参加者561人 ・H30.9.11 清掃活動:参加者392人 ・H30.11.8 ふれあいフェスティバル(交歓会) 参加者332人 ・H30.12.8 体カ祭 参加者460人 ・H30.12.17 新事業「れいこ」参加者延2,319人 ・H30.1.18～22 新事業「れいこ」参加者延2,329人	・スポーツ少年団による活動は、子どもたちの健全な身体と精神の発育のため、また競技科目や学級の習熟を、子ども同士で練習や交流を促す良い機会となるため、今後も協力も続けていく。 ・子どもたちの命を守るため、学校の安全確保の申し送りにおいて、毎年多くの参加がある。スポーツ団体としての団結力の強さが表れている。 ・令和元年年度より団体数が1団体増え、21団体となった。	・スポーツ少年団による活動は、子どもたちの健全な身体と精神の発育のため、また競技科目や学級の習熟を、子ども同士で練習や交流を促す良い機会となるため、今後も協力も続けていく。 ・子どもたちの命を守るため、学校の安全確保の申し送りにおいて、毎年多くの参加がある。スポーツ団体としての団結力の強さが表れている。 ・令和元年年度より団体数が1団体増え、21団体となった。
1(8) スポーツ教室・出前講座事業	スポーツ推進課	○各種教室及び参加者数 ○出前講座実施回数及び参加者数	・開催教室数:23教室 参加者数:1,296人	・開催教室数:23教室 参加者数:1,296人	・教育委員会主催教室 4教室:187人(体操、バドミントン、すもう、ユニホック) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 16教室:771人(フリスビー、卓球、バドミントン、水泳) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 18教室:20人(ダンス教室) 出前講座(スポーツ推進委員) 4教室:140人(ダーツ、キンボール) 計 26教室 1,185人	・教育委員会主催教室 9教室:180人(体操、バドミントン、すもう、ユニホック、ルディックウォーキング) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 16教室:771人(フリスビー、卓球、バドミントン、水泳) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 18教室:20人(ダンス教室) 出前講座(スポーツ推進委員) 7教室:199人(ダーツ、キンボール) 計33教室 1,797人	・教育委員会主催教室 9教室:219人(体操、ユニホック、すもう、バドミントン、水泳) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 16教室:771人(フリスビー、卓球、バドミントン、水泳) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 18教室:20人(ダンス教室) 出前講座(スポーツ推進委員) 12教室:847人(ダーツゴルフ、ベタングほか) 計35教室 1,797人	・教育委員会主催教室 9教室:219人(体操、ユニホック、すもう、バドミントン、水泳) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 16教室:771人(フリスビー、卓球、バドミントン、水泳) ・体育協会主催教室(教育委員会共催) 18教室:20人(ダンス教室) 出前講座(スポーツ推進委員) 12教室:847人(ダーツゴルフ、ベタングほか) 計35教室 1,797人	・教育委員会主催の教室で毎年引続き野球教室を開催した。各教室はスポーツ団体の協力を得て開催している。今後も継続していきたい。 ・体育協会主催の教室の参加者数は前年度比で39人減少した。しかし、体育協会及び各団体の協力が厚く、スポーツに関する機会を確保できている。児童館から好評を得ている。 ・出前講座は、講座数、参加者数ともに減少したが、出前講座を依頼した団体が用具を借用了。自分たちでニュースポーツを実施する機会を作ることになった。今後も出前講座(ニュースポーツ)を普及しながら、各団体のニュースポーツに力を入れる機会を確保したい。
1(9) 老人クラブ育成事業	長壽課	○会員数	①平成27年4月1日現在 市内54クラブ、283人	平成28年4月1日現在 市内55クラブ3、280人	①平成29年4月1日現在 市内55クラブ3、240人	①平成30年4月1日現在 市内55クラブ3、127人	9月30日現在の会員数を把握していません。	令和2年4月1日現在 市内55クラブ2、046人	会員数の減少と会員の高齢化が課題。新規加入促進のイベント等を継続実施し、会員数の増加に努める。

1(10)	家族介護者交流事業	長寿課	○参加者数	① 家族介護教室（介護者のついで） 平成26年度 実施日数11日 参加者数延べ216人	② 家族介護教室（介護者のついで） 平成27年度 実施日数11日 参加者数延べ158人 平成27年度 交流事業日帰りバス旅行 参加者24名	③ 家族介護教室（介護者のついで） 平成28年度 実施日数11日 参加者数延べ 120人 平成28年度 交流事業日帰りバス旅行 参加者 21名	④ 家族介護教室（介護者のついで） 実施日数11日 参加者数延べ 126人 交流事業日帰りバス旅行 参加者 21名	⑤ 家族介護教室（介護者のついで） 実施日数11日 参加者数延べ 136人 交流事業日帰りバス旅行は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止	⑥ 家族介護教室（介護者のついで） 1、5月は中止、6月参加者 13人	平成28年度から、通常の参加者以外にも積極的に参加してもらえるよう、市町村振興協会の講師派遣制度を利用した研修会を実施することし、広報等でも呼びかけ、参加者の増加につなげた。
1(11)	認知症家族介護支援事業	長寿課 (令和元年度から健康推進課)	○参加者数	-認知症家族教室（H26年度より実施）参加者数 実施日数0日 参加者数延べ58人 認知症家族支援プログラム（H27年度より実施）参加者数 実施日数0日 参加者数延べ56人	① 認知症家族教室（H26年度より実施）参加者数 実施日数12日 参加者数延べ 189人 ② 認知症家族支援プログラム（H27年度より実施）参加者数 実施日数0日 参加者数延べ 58人	① 認知症家族教室（H26年度より実施）参加者数 実施日数12日 参加者数延べ 209人 ② 認知症家族支援プログラム（H27年度より実施）参加者数 実施日数0日 参加者数延べ 59人	① 認知症家族交流会 実施回数年11回 参加延人数83人 ② 認知症家族支援プログラム 実施回数年4回 参加延人数37人	① 認知症家族交流会 ② 認知症家族支援プログラム	認知症の介護家族が職場に悩みを相談し、情報交換することで介護ストレスの軽減を図ることを目指し開催している。広域へも配布などで情報が行っているが、今後も認知症に地域包括支援センターやケアマネジャーと連携して周知し、参加者数増加につなげるよう努める。	
1(12)	認知症カフェ事業	長寿課	○設置か所数	実施なし	実施なし	実施なし	① みらいあかフェ（法人運営へ移行） その他、法人運営として3か所開設あり	① 認知症カフェ「amine」をなごみの郷に開設予定している（塩津包括支援センター） その他、法人運営として3か所開設あり	認知症の本人とその家族が、気軽に集える場所を設けることを目的に開設。地域包括支援センター区域ごとに市街の設置を目指している。今後も一般高齢者が集うサロンとの差別化を図りながら、開設場所を増やしていきたいよう努める。	
1(13)	老人福祉センター「寿楽荘」	長寿課	○利用者数、公認クラブ教室数及び参加者数	① 利用者数 45,167人（ふれあい入浴利用者含む） ② 公認クラブ教室数 7クラブ2,237人	① 利用者数 43,073人（内、ふれあい入浴386人） ② 公認クラブ教室数 7クラブ2,052人	① 利用者数 39,885人（ふれあい入浴利用者含む） ② 公認クラブ教室数 7クラブ2,372人	① 利用者数 37,615人（ふれあい入浴利用者含む） ② 公認クラブ教室数 7クラブ2,509人	9月30日現在実績 ① 利用者数16,532人（ふれあい入浴利用者含む） ② 公認クラブ教室数 7クラブ1,068人	令和2年3月31日現在実績 ① 利用者数30,217人（ふれあい入浴利用者含む） ② 公認クラブ教室数 7クラブ1,908人	高齢化に伴い自力で乗降に支えられない利用者の利用を促すため、令和2年4月から毎週月曜日と木曜日に寿楽荘と三河三谷新駅の送迎バスの運行を開始した。
1(14)	生きがいセンター	長寿課	○生きがいセンター活性化計画の策定	-月替わりで催事を開催 ・生きがいセンターまつり7月13日開催 参加者 約500名 ・模擬店・音楽コンサート・カラオケ発表会・作品展・バザー・フリーマーケット 参加者 約800名	-月替わりで計14イベントを開催 ・生きがいセンターまつり 7月12日開催 ・模擬店・音楽コンサート・カラオケ発表会・作品展・バザー・フリーマーケット など 参加者 約800名	-月替わりで計15イベントを開催 ② 7月9日開催 参加者 約800名 ・模擬店・音楽コンサート・カラオケ発表会・作品展・フリーマーケット など 参加者 約800名	① 月替わりで計15イベントを開催 ② 7月9日開催 参加者 約700名 ・模擬店・音楽コンサート・カラオケ発表会・作品展・フリーマーケット など	9月30日現在 ① 月替わりで計2イベントを開催（展示、コンサートなど） ② 7月14日開催 参加者 約500名 ・模擬店・音楽コンサート・カラオケ発表会・作品展・フリーマーケット など	令和2年3月31日現在 ① 月替わりでイベント開催（展示、コンサートなど） ② 令和元年7月14日開催 参加者 約500名 ・模擬店・音楽コンサート・カラオケ発表会・作品展・フリーマーケット など	今後も引き続き、高齢者の生きがいづくりや地域交流の場となるようにする。
1(15)	がまごおり協働まちづくり基金事業	協働まちづくり課	○活動実績	はじめの一歩部門 3件 ほとばしる情報支援部門 5件	はじめの一歩部門 3件 ほとばしる情報支援部門 5件	はじめの一歩部門 2件 ほとばしる情報支援部門 4件	はじめの一歩部門 4件 ほとばしる情報支援部門 2件	はじめの一歩部門 2件	はじめの一歩部門 1件（予定）	令和年度は、はじめの一歩部門で不登校の保護者を中心とした団体「Home School」の学校へ行っていない子どもの数が、大幅に減少し、登校の学校についての話し合いや座談会を行いました。多様な人々が意見交換をすることで、当事者の保護者は自分一人で抱え込まないことや不登校の子もたちについて多くの理解者を増やすことができました。
1(16)	地域交流拡大事業	協働まちづくり課	○活動実績	ひと・人とトヨットレースの開催。 パラセニックセーリング日本代表チームの練習実施。	ひと・人とトヨットレースの開催。	ひと・人とトヨットレース（ひと・人とH2DAYS大会）の開催	ひと・人とトヨットレース（ひと・人とH2DAYS大会）の開催	実施せず	実施せず	過去はひと・人とトヨットレース（ひと・人とH2DAYS大会）の開催開催大会運営のあり方について見直しを行った。
1(17)	地区社協拡大事業	社会福祉協議会	○地区社協の設立数 【平成29年度現在1地区(大塚地区)】	総代既を回り、地区社協設立の意義・効果等について説明をしたが、新たな地区社協の設立には至らなかった。 ① 総代・民生委員等の要する負担増。 ② 各行事に対する考え・人員等の確保が難しいことによる困難。 ③ 公民館運営推進協議会など地区社協と似た構成員の組織が既存。	総代既を回り、地区社協設立の意義・効果等について説明をしたが、新たな地区社協の設立には至らなかった。 ① 総代・民生委員等の要する負担増。 ② 各行事に対する考え・人員等の確保が難しいことによる困難。 ③ 公民館運営推進協議会など地区社協と似た構成員の組織が既存。	すでに活動している大塚地区社協「あつたかネット大塚」は年4回の会議を行っている。地域の行事に参加を呼びかけ、自分達の街は、自分たちでスローガンにて地域福祉へ貢献しています。また、地域のいきいきサロンへは積極的に運営しているようになり、また、そこから出てくる地域の方の意見を会議にて取り上げている。他地区においては、関係者へ声をかけて話をすることも地域での負担が大きいため、地区社協設立までには至っていません。	現在活動している地区社協は大塚の「あつたかネット大塚」で年3回の会議を開催しています。他地区においては、関係者への事務負担が大きいので立ち上げまで至っていません。 ※今後の展開として（実施ではなく）第3期計画には地区社協拡大事業から生活支援体制整備事業へ変更して進めます。現在、生活支援コーディネーターにより市内11箇所（公民館単位）で展開している「支え合いの座談会」により地域課題について話し合いを毎月行っている。 一第3期計画には事業を入れない	現在、地域の様々な活動している総代、民生委員、ボランティアに今まで以上に負担を求めざるを得ない状況です。設立の必要性は理解できるが、各行事にたいして適切な予算や、それをまとめる人材確保などでは、設立は難しく、地区社協拡大事業につなげられない。 また、平成29年度より生活支援体制整備事業にて「生活支援コーディネーター」と「協議体」という地域の種となる話し合いの場を推進していくこともあり、今後地区社協拡大ではなく地区社協自体のあり方についても考えていく必要があると思われます。		
1(18)	いきいきサロン普及事業	社会福祉協議会	○サロンの設立数 平成28年度は 14団体 令和2年度は 18団体	のべ回数は、14団体で168回、延べ374人が参加した	のべ回数は、14団体で177回、1団体平均12回/年	のべ回数は、18団体で232回、1団体平均12回/年 ※詳細は別紙参照。	のべ回数は、24団体で417回、1団体平均17回/年 ※詳細は別紙参照。	のべ回数は、24団体で417回、1団体平均17回/年 ※詳細は別紙参照。	各サロンで、それぞれ特色のある活動が行われています。 ※団体数、開催数、参加人数は増加しています。 ※今後も高齢者の老朽化等による閉鎖が予想される為、新たな拠点を確保する事が重要になると思われる。	
1(19)	高齢者レクリエーション大会事業	社会福祉協議会	○高齢者レクリエーションは家から外出し、一日楽しく過ごせる事業です。	① 平成26年11月7日実施 1,097人 演芸出演者数4組、194名	平成27年度11月5日開催 参加者数1,118名 演芸出演者数4組、156名	① 平成28年11月11日実施 1,075人	・平成29年11月1日実施 於 清都市民会館大ホール 式典、舞踊、カラオケ等 1,089人参加	・令和元年11月7日実施 於 清都市民会館大ホール 式典、舞踊、カラオケ等 1,058人参加	・市民会館大ホールにて、式典、舞踊、カラオケ等を楽しみました。	
1(20)	地区敬老行事助成事業	社会福祉協議会	○地区敬老事業へ助成を行っています。	平成26年度実績6,130名分（助成金額2,973,050円）	平成27年度は6,469名分（助成金額2,975,740円）	市内80歳以上の高齢者に敬老行事のために、1人430円を社協から共同助成金を申請し助成金を出している。 平成28年度は126,831名分の2,937,330円。	・市内80歳以上の高齢者に敬老行事のために、1人410円を社協から共同助成金を出している。 平成29年度は1103名分の312,230円です。 ・配分はしない11ヶ所の公民館に別紙のような配分をしました。	・市内80歳以上の高齢者に敬老行事のために、1人390円を社協から共同助成金を出している。 平成29年度は747名分の294,470円です。	・当市も全国同様高齢化が進んでおり、社協の行う地域での敬老行事助成金は地域のための支援と言えます。しかし、財源も限りがあり、年々400名が増えるため、このままでは継続が難しくなります。 ・平成30年度はさらに対象者が増えるため、年齢を上げるのではなく、1人当りの助成金を下げて、対応します。	
1(21)	勤労福祉会館	社会福祉協議会	○利用者の満足度	勤労福祉会館の登録団体は、平成27年3月31日現在314団体の登録増加となっております。駐車場は少し狭く、利用者様にはご迷惑をお掛けしていますが、公用車等は清都南郡小中学校も借り、職員一丸となって利用者様のために取り組んでいます。 また、高齢者、障がい者施設であるのに、トイレに手すりがないので、平成26年度には大塚地区管内に手すりを設置した。そして、1棟ではあるがウォッシュレットの洋式便器の設置を行い、今後増設していく予定です。	勤労福祉会館の登録団体は、平成28年3月31日現在290団体の登録増加。 駐車場が狭く、利用者が駐車できない事もあるが、公用車等の駐車場として清都南郡小中学校も借り、職員一丸となって利用者様のために取り組んでいます。 また、高齢者、障がい者施設として、洋式便器（ウォッシュレット）の設置を今後増設していく予定です。	勤労福祉会館の登録者は平成29年3月31日現在316団体の登録増加となっております。駐車場が狭く利用者に迷惑を掛けているが、職員で対応しております。そして、職員の窓口対応にも注意し、言葉づかい、服装、髪型などを付けています。また、地域に愛される勤労福祉会館をスローガンに、夜間の部屋の貸借回数/3,703回 ヘルストロン利用者年間/8,704人 開館日数年間/359日	勤労福祉会館の登録者は平成30年3月31日現在306団体の登録増加となっております。駐車場が狭く利用者に迷惑を掛けているが、職員で対応しております。そして、職員の窓口対応にも注意し、言葉づかい、服装、髪型などを付けています。また、地域に愛される勤労福祉会館をスローガンに、夜間の部屋の貸借回数/3,703回 ヘルストロン利用者年間/9,088人 開館日数年間/359日	・年間の部屋の貸借回数/3,526回 ヘルストロン利用者年間/8,445人 開館日数年間/339日	平成29年度は事故も悲情も一件もございません。ただし、駐車場に関しては、利用者様に多大なご迷惑をお掛けしていますが、福祉の心の「お互い様」にてご理解とご協力をお願いいたします。 そして、地域に愛される、市民に愛される勤労福祉会館を目指してまいります。	

基本目標2 現在、そして将来の福祉や地域活動を担う人をつくる、増やす

事業名	実施主体	評価指標	平成26年度実績	平成27年度実績(参考:第1期地域福祉計画)	平成28年度実績	平成29年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	進捗の評価
2(1) こんには赤ちゃん訪問員育成事業	健康推進課	①フォローアップ研修開催回数②こんには赤ちゃん訪問員数③参加者数	こんには赤ちゃん訪問員人数26人 こんには赤ちゃん訪問員数訪問回数(平成26年度)184件	①フォローアップ研修開催回数:4回(うち1回は他市との交流会) ②参加者数:実人数26人、証人数66人 (本年度は教員研修を実施したため、年度途中より訪問員が2名増員)	①フォローアップ研修開催回数:4回(うち1回は他市との交流会) ②こんには赤ちゃん訪問員数:24人 ③参加者数:実人数24人、証人数6人	①年3回 ②こんには赤ちゃん訪問員24名③参加者実人数24人・証人数55人	①フォローアップ研修:年3回 ②赤ちゃん訪問員数:22人	①フォローアップ研修:年2回 ②赤ちゃん訪問員数:22人	令和4年までの乳児のいる家庭の全戸訪問を実施しているが、乳子以降の乳児がいる家庭を中心に赤ちゃん訪問員が継続訪問を行っている。保護者が安心して子育てができるよう、保健師等をはじめ訪問活動が円滑にできるために赤ちゃん訪問員に対するフォローアップ研修を継続して実施していきたい。
2(2) 健康づくりいっしょにやろまい	健康推進課	①健康づくりいっしょにやろまい会地区活動実施数・活動人数・住民参加者数 ②市内イベント等での活動及び保健事業への協力実施数・活動人数	①地区活動実施数:24回・活動人数:146人・住民参加者数:866人 ②実施数:19回 活動人数:39人	①地区活動実施数:29回・活動人数:119人・住民参加者数:840人 全体活動実施数:3回(市内全体ワーキング2回・ノルディック講習会1回)・活動人数:33人・住民参加者数:164人 ②実施数:15回 活動人数:26人	①地区活動実施数:35回・活動人数:151人・住民参加者数:902人 全体活動実施数:3回(市内全体ワーキング2回・ノルディック講習会1回)・活動人数:41人・住民参加者数:164人 ②実施数:12回 活動人数:17人	①活動実施数:地区30回・全体4回(市内全体ワーキング2回・ノルディック講習会1回)・役員会11回 活動人数:証人数19人・住民参加者数:証人数250人 ②実施数:11回 活動人数:22人	①健康づくりいっしょにやろまい会地区活動実施数:活動人数:52人 住民参加者数 ②市内イベント等での活動及び保健事業への協力実施数・活動人数	市民の健康づくりの波及効果を促すための健康づくりいっしょにやろまい会の活動も定着している。今後も地区および全体活動が円滑に行えるよう、会員の活動継続促進及び健康意識の維持継続できるよう支援をしていきたい。	
2(3) 食生活改善推進員事業	健康推進課	①食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ②食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ③食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ④食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ⑤食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ⑥食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ⑦食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ⑧食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ⑨食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 ⑩食生活改善推進員地区活動実施回数・人数	・食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 保健事業・委託事業への協力:66回 活動人数:270人 参加者数:1,000人 ・食生活改善推進員再教育事業 健康講座実施回数:4回(3回目は2日間に分けて実施) 教室参加人数:234人	・食生活改善推進員地区活動実施回数・人数 保健事業・委託事業への協力:72回 活動人数:280人 参加者数:1,263人 ・食生活改善推進員再教育事業 健康講座実施回数:4回(3回目は2日間に分けて実施) 教室参加人数:9人・72人(証人数)	・保健事業・委託事業への協力 実施回数:47回 活動人数:174人 参加者数:1,702人 ・食生活改善推進員再教育事業 健康講座実施回数:4回(3回目は2日間に分けて実施) 教室参加人数:14人・99人(証人数)	①委託事業の実施回数7回・参加者証人数264人、市の保健事業の協力実施回数44回・活動人数83人、食育キャラバン隊 実施回数10回・参加人数555人 ②食生活改善推進員会員数:70人 ③食生活改善推進員育成教室:全8回実施 育成実人数17人	①委託事業の実施回数7回・参加者証人数264人、市の保健事業の協力実施回数44回・活動人数83人、食育キャラバン隊 実施回数10回・参加人数555人 ②食生活改善推進員会員数:80人 ③食生活改善推進員再教育事業:実施 食生活改善推進員育成教室:隔年で実施(令和3年度実施予定)	地域を舞台とした食生活を中心とした健康づくりの普及活動を実施している。保健事業の協力、イベント参加など地区活動だけでなく、全体活動も定着している。男性の食生活改善推進員もおり、活動の幅も広がってきている。今後も活動が円滑に実施していけるよう連携及び支援をしていきたい。	
2(4) ボランティア・職体験・実習生の受け入れ	子育て支援課	ボランティア・職体験・実習生の受け入れ実施回数・内容	ボランティア:16回中12回 証人数56回 内容:交通安全教室・影絵・不審者訓練・老人とのふれあい 読み聞かせ等 職体験:16回中16回受け入れ 証人数42回 内容:中学校 高校生受け入れ 実習生:16回中16回受け入れ 証人数58回 内容:保育士養成校・高校生受け入れ、家庭科実習・看護学生	ボランティア:16回中12回 証人数56回 内容:交通安全教室・影絵・不審者訓練・老人とのふれあい 読み聞かせ等 職体験:16回中16回受け入れ 証人数42回 内容:中学校 高校生受け入れ 実習生:16回中16回受け入れ 証人数58回 内容:保育士養成校・高校生受け入れ、家庭科実習・看護学生	ボランティア:16回中12回 証人数53回 内容:学生とのふれあい・読み聞かせ・人権講座教室、交通安全教室・実習生・老人とのふれあい・ペン字作り 読み聞かせなど 職体験:16回中16回受け入れ 証人数26回 内容:中学校 高校生受け入れ 実習生:16回中16回受け入れ 証人数63回 内容:保育士養成校・高校生受け入れ、資料衛生士養成校、看護学生	・ボランティア 16回中10回 証人数46回 内容:学生とのふれあい・読み聞かせ・人権講座教室、交通安全教室、食育推進活動 職体験:16回中16回受け入れ 証人数42回 内容:中学校 高校生受け入れ 実習生=16回中16回受け入れ 証人数42回 内容:保育士養成校・高校生受け入れ、資料衛生士養成校、看護学生	ボランティア・実習生等積極的に受け入れている。数が増った箇所は、依頼そのものが減った為。食育活動、人権講座活動も子供向けに数量を削減している。今後も数が増える予定とのことで積極的に受け入れていきたい。		
2(5) 子ども・若者育成支援ネットワーク協議会推進事業	青少年センター	①実務者(ケース)会議の開催実績及び相談件数 ②講習会(研修会)の開催 ③子ども・若者相談窓口相談件数	①実務者会議開催状況 6/6月参加者28人、8/31(水)参加者25人、2/22(水)参加者25人 ②研修会参加者数 研修会1(21:上)・2(議題)カウンセラーから見える若者支援 講師:臨床心理士 石川健司氏 参加者60人 ③相談件数 平成28年6月8日開催。相談日:月・水・金の週3日9:00～16:00相談員:1名 相談証件数167件 実人数22人。主な相談:小中学生の不登校、高校生の進路変更、ひきこもり	①実務者会議開催状況 6/7(水)参加者28人、8/21(月)参加者32人 ②研修会参加者数 研修会1(29/月)議題「ひきこもりの若者への支援」講師:新城市基幹相談支援センター 渡辺竜夫氏 参加者41人 ③相談件数 相談日:月・水・金の週4日9:00～16:00 相談員:2名 相談証件数 429件 実人数 46人 主な相談:小中学生の不登校、ひきこもり	①実務者会議開催状況 6/17(月)参加者25人、8/19(月)参加者26人 ②研修会参加者数 研修会11/25(月) 議題「ひきこもりの若者への支援」講師:NP0法人 青少年自立援助センター 北平真理子氏 鈴木直氏 参加者41人 ③相談件数 相談日:月・水・木の週4日9:00～16:00 相談員:2名 相談証件数 429件 実人数 46人 主な相談:小中学生の不登校、ひきこもり	①実務者会議開催状況 感染症拡大防止のため、開催せず ②研修会参加者数 研修会11/25(月) 議題「ひきこもりの若者への支援」講師:NP0法人 青少年自立援助センター 北平真理子氏 鈴木直氏 参加者41人 ③相談件数 相談日:月・水・木の週4日9:00～16:00 相談員:2名 相談証件数 429件 実人数 46人 主な相談:小中学生の不登校、ひきこもり	①実務者会議開催状況 感染症拡大防止のため、開催せず ②研修会参加者数 研修会11/25(月) 議題「ひきこもりの若者への支援」講師:NP0法人 青少年自立援助センター 北平真理子氏 鈴木直氏 参加者41人 ③相談件数 相談日:月・水・木の週4日9:00～16:00 相談員:2名 相談証件数 429件 実人数 46人 主な相談:小中学生の不登校、ひきこもり	ひきこもりの相談は、家族の希望相談から始まり、相談を要することでまず家族が応答を期待し、その部を本人に受けてもらうことで、本人が相談を求むことを目指しているため、協会の支援が必要となる。職員間で対面での相談を基本としているが、感染症の感染を心配するあまり、相談をためらうことも考えられる。そこで、令和2年度中を目標にメール相談とオンライン相談ができるように準備を進めている。	
2(6) 介護予防サポーター育成・活動支援事業	長寿課 健康推進課	サポーター数	平成27年3月31日現在 63人	平成28年3月31日現在 64人	平成29年3月31日現在 48人	平成30年3月31日現在 48人	①サポーター数 60人 ②介護予防サポーターフォローアップ研修 実施回数年3回 参加証人数7人 ③介護予防サポーター養成研修 実施回数年2回 受講証人数39人	①サポーター数 60人 ②介護予防サポーターフォローアップ研修 実施回数年3回 参加証人数7人 ③介護予防サポーター養成研修 実施回数年2回 受講証人数39人	介護予防サポーターの養成講座について、平成27年度に実施したが、毎年実施しても参加者が集まらず、平成28、29年度は実施を見送り、平成30年度に研修を実施している。新規の養成をしない、休職不登等で会員数は減少している。

2(7)	認知症サポーター養成事業	長寿課	○ サポーター養成		・養成講座開催数 27回 ・参加講座参加者数 684人 ・養成人数累計(H19年度～) 3,992人	・養成講座開催数 24回 ・参加講座参加者数 683人 ・養成人数累計(H19年度～) 4,855人	・養成講座開催数 16回 ・参加講座参加者数 543人 ・養成人数累計(H19年度～) 5,403人	・養成講座開催数 19回 ・参加講座参加者数 647人 ・養成人数累計(H19年度～) 7,298人	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、6月末現在講座の実施なし	令和2年度からは、認知症サポーター養成講座受講者の中から有志を募り、「フォローアップ研修」を開催予定。フォローアップ研修を受講後は、地域で認知症高齢者を支援するボランティアとして活動できるよう支援していく予定。
2(8)	介護支援ボランティア(ボランティアポイント)事業	長寿課	○ 活動会員数 ○ 活動ポイント数		事業実施なし	(平成28年7月～活動開始) ・活動会員数 51人 ・活動ポイント数 209ポイント	・活動会員数 87人 ・活動ポイント数 総計 1,113ポイント	・活動会員数 109人 ・活動ポイント数 総計 1,323ポイント	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、6月末現在活動実施なし	ボランティア活動を行う会員数及び活動ポイント数ともに伸びている。今後も活動するボランティアが増えるよう周知に努めていく。
2(9)	がまごおり市域まづくりセンター	協働まちづくり課	○ 利用団体数 ○ 活動支援実績	登録団体 122団体 利用件数 3,494件 相談件数 1,306件	登録団体 110団体 利用件数 2,860件 相談件数 1,234件	登録団体数 124団体 利用件数 3,056件 相談件数 1,257件	登録団体数 126団体 利用件数 2,964件 相談件数 1,248件	登録団体数 126団体 利用件数 2,964件 相談件数 1,248件	登録団体数 126団体 利用件数 2,964件 相談件数 1,248件	登録団体は幅広いですが、解散する団体があれば新たに登録する団体もあります。団体同士の交流や、勉強会などを実施し、団体のスキルアップに努めています。
2(10)	ボランティアセンター機能強化事業	社会福祉協議会	○ ボランティアセンターへの相談件数 ○ ボランティア連絡協議会事務局 ○ 機関誌・ホームページなどで啓発 ○ ボランティア活動保険加入業務	① 平成28年度 ボランティアコーディネーター等の相談件数72件 ② 助成金1回、委員会12回開催 ③ 社協だより79号(5月)・80号(9月)・81号(1月)を発行し、全戸配布(発行部数2,500部発行) ④ ボランティア活動保険加入者数1,506名 ボランティア行事参加保険加入者数(第32回福祉まつり574名)	① 平成27年度 ボランティアコーディネーター等の相談件数72件 ② 助成金1回、委員会12回開催 ③ 社協だより78号(5月)・80号(9月)・84号(1月)を発行し、全戸配布(発行部数2,500部発行) ④ ボランティア活動保険加入者数1,506名 ボランティア行事参加保険加入者数(第33回福祉まつりなど、666名)	① 平成28年度 ボランティアコーディネーター等の相談件数48件 ② 助成金1回、委員会12回開催 ③ 社協だより78号(5月)・80号(9月)・89号(1月)を発行し、全戸配布(各号28,500部発行) ④ ボランティア活動保険加入者数1,807名 ボランティア行事参加保険加入者数(第34回福祉まつりなど、620名)	① 平成29年度 ボランティアコーディネーター等の相談件数35件 ② 助成金1回、委員会12回開催 ③ 社協だより78号(5月)・87号(9月)・89号(1月)を発行し、全戸配布(各号28,500部発行) ④ ボランティア活動保険加入者数1,807名 ボランティア行事参加保険加入者数(第35回福祉まつりなど、1,649名)	③ 社協だより94号(5月)・95号(8月)・96号(1月)を発行し、全戸配布(各号28,500部発行) ④ ボランティア活動保険加入者数1,727名(災害ボランティア32名含む) ボランティア行事参加保険加入者数410名(廣都市社会福祉協議会など)	③ 社協だより97号(5月)・98号(8月)を発行し全戸配布(各号28,000部発行)	-社協だよりの活用強化ホームページを随時更新
2(11)	ボランティアセンター事業	社会福祉協議会		要約筆記者入門講座開催 6月14日～7月14日 全5回 受講者3名 修了者3名 福祉ガイドヘルプ初心者体験講習会開催 10月23日 受講者7名 修了者7名 手話専任員養成講座「入門編-基礎編」開催5月10日～2月28日 全4回 受講者10名 修了者7名	-環境課が1名のための音訳ボランティア養成講座 全6回 修了者1名 「手話専任員養成講座」～手話を学ぶ手話で話そう～ 毎週火曜日全40回 修了者8名 点訳ボランティア養成講座受講者募集 毎週木曜日 全8回 修了者1名	音訳グループ「声」勉強会開催 平成28年5月7日(土)、6月4日(土)7月2日(土)、8月6日(土)、9月3日(土)参加者19名 平成28年5月10日～手話を学ぶ手話で話そう～ 平成28年5月10日から24年3月14日までの各火曜日 全40回 修了者10名	音訳グループ「声」勉強会開催(全5回) 平成28年 5/13、6/7、7/15、8/19、9/16の各土曜日 会場内24時間7分を目標として開催 参加者20名 音訳ボランティア養成講座(全6回) 平成28年 1/13、2/27、2/19、17 音訳ボランティアとは何かを 理解した上ながら、音訳の必要勉強する講座 参加者6名 音訳ボランティア養成講座(全12回) 手話で話そう、全20回、10/18、11/17、11/15、12/8、12/23、1/10、1/24、	③ 社協だより94号(5月)・95号(8月)・96号(1月)を発行し、全戸配布(各号28,500部発行) ④ ボランティア活動保険加入者数1,727名(災害ボランティア32名含む) ボランティア行事参加保険加入者数410名(廣都市社会福祉協議会など)	③ 社協だより97号(5月)・98号(8月)を発行し全戸配布(各号28,000部発行)	各講座とも各グループのスキルアップ並びに、一般の方々に少しでも活動の必要性を周知し、活動を求めるとともに講座を行った。各講座とも関心のある、たくさんの方々に参加をいただき、スキルアップ研修や養成研修などが、それぞれのグループの活性化につながることに期待の持てる講座であった。
2(12)	福祉実践教室 ボランティア講座 福祉教育事業	社会福祉協議会	○ 教室に対する要望や教員の満足度 ○ 身近な場で福祉教育を実施する地区協議会	○香津中学校 6月29日(木)13:30～15:30 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座 参加者 1年生42人、ボランティア27人 ○三谷小学校 6月27日(金)14:00～15:30 車いす(1講座) 参加者 6年生38人、ボランティア8人 ○形原小学校 9月11日(木)10:50～12:30 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座 参加者 6年生92人、ボランティア27人 ○三谷東小学校 12月3日(木)13:50～15:30 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座 参加者 6年生58名、ボランティア25人 ○竹島小学校2月4日(木)14:00～15:30 点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす 4講座) 参加者 3年生65名、ボランティア20人 ○東郡小学校2月17日(水)14:00～15:30 点訳(1講座) 参加者 3年生44人、ボランティア12人 ○形原中学校 3月12日(木)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生174名、ボランティア730人	○三谷小学校 7月1日(水)14:00～15:40 車いす(1講座) 参加者 6年生54人、ボランティア7人、O講師 1人 参加者 1年生140人、ボランティア29人 ○三谷東小学校平成27年12月3日(木)9:50～11:30 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 6年生49人、ボランティア26人 ○形原中学校平成27年12月18日(金)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生162人、ボランティア32人 ○香津中学校平成28年1月15日(金)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生162人、ボランティア32人 ○三谷東小学校平成28年1月15日(金)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 3年生84人、ボランティア20人 ○竹島小学校2月4日(木)14:00～15:30 点訳(1講座) 参加者 3年生44人、ボランティア12人 ○形原中学校 3月12日(木)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生41人、ボランティア11人	○三谷小学校 7月1日(水)14:00～15:40 車いす(1講座) 参加者 6年生54人、ボランティア7人、O講師 1人 参加者 1年生140人、ボランティア29人 ○三谷東小学校平成27年12月3日(木)9:50～11:30 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 6年生54人、ボランティア26人 ○形原中学校平成27年12月18日(金)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生162人、ボランティア32人 ○香津中学校平成28年1月15日(金)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生162人、ボランティア32人 ○三谷東小学校平成28年1月15日(金)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 3年生84人、ボランティア20人 ○竹島小学校2月4日(木)14:00～15:45 点訳(1講座) 参加者 3年生44人、ボランティア12人 ○形原中学校 3月12日(木)13:35～15:25 音訳(1講座) 参加者 3年生44人、ボランティア12人 ○三谷東小学校 3月2日(水)14:00～15:40 車いす(1講座) 参加者 3年生40人、ボランティア17人、O講師 1人 参加者 3年生40人、ボランティア17人、O講師 1人 ○形原小学校 3月2日(水)10:00～12:00 点訳(1講座) 参加者 4年生10人、ボランティア7人	○香津中学校 9月6日(木)13:35～15:25 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 1年生175人、ボランティア7人 ○三谷東小学校 12月12日(水)9:50～11:35 音訳・点訳・手話・ガイドヘルプ・車いす・要約筆記6講座) 参加者 6年生65人、ボランティア17人 ○形原中学校 1月19日(金)13:35～15:25 点訳・手話(1講座)参加者 11・2年生97名、ボランティア78人 ○形原中学校 2月6日(水)14:00～15:25 点訳(1講座)参加者 3年生59人、ボランティア6人 ○竹島小学校 2月16日(金)9:40～11:25 音訳(1講座)参加者 3年生58名、ボランティア7人 ○形原中学校 2月16日(金)13:35～15:00 点訳・手話(2講座)参加者 3年生43名、ボランティア6人 ○三谷東小学校 2月23日(金)9:45～11:30 音訳・手話(2講座)参加者 3年生29名、ボランティア5人 ○形原小学校 3月5日(月)10:50～12:30 点訳・手話・ガイドヘルプ(3講座)参加者 3年生59名、ボランティア12人	○手話専任員養成講座「手話を学ぶ手話で話そう」(全40回) 令和元年 5/14～令和2年 2/22まで、各火曜日、入門編17回、基礎編23回の全40回開催し、うち者とのコミュニケーションツールとして用いられる手話を学ぶ。参加者16名 ○音訳グループ「声」勉強会開催(全回) 令和元年 5/18、6/15、7/20、8/17、9/21の各土曜日、会員のスキルアップを目的として開催 参加者20名 ○車いす指導者養成講座 令和元年 7/17(水)、車いすの取り扱いは介護方法を学び、福祉実践教室での講師を養成すること目的に開催 参加者15名 ○講師ボランティア養成講座(全回) 令和元年 10/4(日)11:00～21:11 各金曜日、コミュニケーションを円滑に図るための「意識」の在り方、積極的に聞く・問われるスキルを体験的に学ぶ講座 参加者15名 ○車いす指導者養成「フォローアップ講座」 令和元年 12/25(水)、車いすの取り扱い・介護方法を学び、聴覚者のスキルアップを図る。福祉実践教室での講師を養成すること目的に開催 参加者6名 ○音訳ボランティア養成講座(全回) 令和2年 1/11、18、25、2/1、8各土曜日、音訳ボランティアとは何かを理解した上ながら、音訳の必要性勉強する講座 参加者2名		

基本目標4 災害に向けた不安を取り除く仕組みを市全域で実施する

事業名	実施主体	評価指標	平成26年度実績	平成27年度実績(参考:第1期地域福祉計画)	平成28年度実績	平成29年度実績	令和元年度実績	令和2年度	進捗の評価
4(1) 災害時要援護者支援事業	防災課 福祉課 長寿課	○災害時要援護者登録者数 ○災害時要援護者及び支援者等を交えた、訂正後追加 ○個別支援計画作成数 ○名簿作成地域数	-平成27年3月31日現在、福祉課57名、長寿課33名 -災害時要援護者台帳の記載内容に変更がある方のみ台帳を回収し、訂正後追加。 -指定福祉避難所との連携、支援体制の強化を図るため、連絡会議を開催予定(1477.3.30)	-平成28年3月31日現在、福祉課64名、長寿課29名 -災害時要援護者台帳の記載内容に変更がある方のみ台帳を回収し、名簿及び回収した台帳内容を変更した後、該当者に通知した。 -避難行動要支援者の対象者をリストアップし、名簿を作成した。 -災害時要援護者の福祉課上については手帳交付時に災害時要援護者対象者に案内し1人の新規登録があった。長寿課においては年2回新規対象者に案内を送付し、2人の登録があった。 -個別支援計画の作成数は0であった。 -名簿作成地域数は1であった。(東町南会)	-平成29年3月31日現在、福祉課61名、長寿課32名 -災害時要援護者台帳の記載内容に変更がある方のみ台帳を回収し、名簿及び回収した台帳内容を変更した後、該当者に通知した。 -避難行動要支援者の対象者をリストアップし、名簿を作成した。 -災害時要援護者の福祉課上については手帳交付時に災害時要援護者対象者に案内し1人の新規登録があった。長寿課においては年2回新規対象者に案内を送付し、12人の登録があった。 -個別支援計画の作成数は0であった。 -名簿作成地域数は1であった。(東町南会)	-令和元年度3月時点、福祉課63名、長寿課33名 -個別支援計画については令和2年度実施 -令和元年度3月時点、福祉課63名、長寿課33名 -個別支援計画(7月8日時点) 福祉課(備がい)78名、長寿課(要介護認定)33名 7月時点記入用紙送付済み 15名回収 長寿課(要介護認定)7月 記入用紙配布予定 未回収	-令和元年度3月時点、福祉課63名、長寿課33名 -個別支援計画については令和2年度実施	-令和元年度3月時点、福祉課63名、長寿課33名 -個別支援計画については令和2年度実施	評価 -全体の対象者に対しての登録率は増えているが、全員の台帳登録には至っていない。 -個別支援計画の作成は令和2年度の完成をすめている。 -ケアマネージャー及び福祉支援専門員に災害時要援護者台帳への登録を促す。 -民生員、民生にアンケートの結果、支援者を含め長寿課で対応については賛否がある。まずは個別支援台帳を整えるところから実施。個別支援計画ができ次第、消防及び警察へ情報提供予定。
4(2) 家具転倒防止事業	防災課	○家具転倒防止器具設置対象世帯数			家具転倒防止対策の促進を図る為、災害時要援護者世帯等に対して実施している。平成15年度から職員が各家庭を訪問し、器具の取り付けを行っていたが、平成22年度からはシルバー人材センターへ委託している。平成28年度実績は16件(平成15年度からの累計は580件)	家具転倒防止対策の促進を図る為、災害時要援護者世帯等に対して実施している。平成15年度から職員が各家庭を訪問し、器具の取り付けを行っていたが、平成22年度からはシルバー人材センターへ委託している。平成29年度実績は19件(平成15年度からの累計は609件)	令和元年度実績は、12月16日現在 8件(平成15年度からの実績は636件)	令和2年度実績は、7月6日現在 0件(平成15年度からの実績は637件)	目標を50件/年としているが、達成できていない。 機会を見て知らせる周知を強化したい。 広報がまだ十分に周知を掲載したところ、掲載前と比較して明らかに申請件数が増加したため、今後周知方法を工夫していく。

基本目標5 経済的に困窮している人の自立支援の基盤をつくる

事業名	実施主体	評価指標	平成26年度実績	平成27年度実績(参考:第1期地域福祉計画)	平成28年度実績	平成29年度実績	令和元年度実績	令和2年度	進捗の評価
5(1) 生活困窮者自立支援制度	福祉課	○自立相談支援実績(相談件数) ○相談者の自立実績			①相談件数 60件/年 ②自立実績 11件/年	①相談件数 120件/年 ②自立実績 2件/年	①相談件数 214件/年 ②自立実績 8件/年		-多様な内容の相談により、相談件数は増加している。 -就労支援においては、自立には至らないが新規に就労できたケースが11ケースあり、進捗に改善を上げている。 -住居確保給付金及び一時生活支援事業等の活用により、さらなる困窮者支援の充実を図ることを目標とする。
5(2) ひと親家庭支援事業	子育て支援課	○母子・父子自立支援員による経済的支援に関する相談件数 ○母子家庭等自立支援給付金の給付実績			①母子・父子自立支援員による経済的支援に関する相談実績 平成28年度 401件(母子家庭164件、父子家庭37件) ②母子家庭等自立支援給付金の給付実績 平成28年度 高等職業訓練給付金 2件1,717,000円(平成28年4月～平成29年3月支給)	①母子・父子自立支援員による経済的支援に関する相談実績 平成28年度 357件(母子家庭149件、父子家庭32件) ②母子家庭等自立支援給付金の給付実績 平成28年度 高等職業訓練給付金 1件1,082,000円(平成29年4月～平成30年3月支給)	①母子・父子自立支援員による経済的支援に関する相談実績 令和元年度 343件(母子家庭311件、父子家庭32件) 令和元年度 高等職業訓練給付金 2件916,500円		-について、相談継続はやや減少(評価)、気候の相談窓口として広範等で増加し、母子家庭からの相談件数は比へ父子家庭からの相談件数少ないため、特に父子家庭へ重点的に進めたい。 -定について、令和元年度は、4月から10月までの給付対象者1名、10月からの給付対象者1名、計2名の支給実績となっており、年支給付金は4,500円、引き続き、児童扶養手当状況照会期間での窓口受け付けをはじめ、制度の周知を図っていくたい。
5(3) 小額資金貸付事業	津南町社会福祉協議会	○貸付件数 ○一件当たり貸付金額			①小額資金 平成28年度 相談のべ件数 118件 貸付件数 72件 貸付総額 2,071,168円 ②食糧支援事業 平成28年度 相談のべ件数 21件 利用件数 12件	①小額資金 平成29年度 相談のべ件数 124件 貸付件数 69件 貸付総額 2,005,000円 ②食糧支援事業 平成29年度 相談のべ件数 27件 利用件数 26件	①小額資金 令和元年度 相談のべ件数193件 貸付件数 119件 貸付総額 3,242,800円 令和元年度 食糧支援事業 令和元年度 相談のべ件数 31件 利用件数 26件		小額資金相談件数及び貸付件数は前年度より増加している。相談者は昨年度と変化は無く、ほぼ福祉課や福祉課を基とした市民からの相談となっている。尚、福祉課からの相談に関しては、生活保護が決定した者の初回保護費支給までの必要な費用の取組での活用も他、年々増加している。生活保護受給者の生活費コントロールの失敗による生活費不足を補う為の貸付依頼が多かった。 食糧支援事業は、月平均2名の利用、生活保護には至らない程度の低所得者層(年金受給者が多い)や小額資金貸付利用が困難な世帯への緊急支援としての利用が目立つた。利用に至った主な理由は、収支コントロールの失敗による生活困窮・取組が決まったが初回給付までの費用が無い等だった。